

羅針盤



進路だより No. 5 令和2年7月6日

◇家庭とクラスをつなぐ進路だよりは必ず保護者の方に見せてください。

公立普通科：約54%、国公立専門学科：約16%、 私立推薦または専願：約23%、定時制通信制約5%

今回の進路希望調査の松尾中3年生の第一希望の集計結果です。今の時点では公立高校への進学を希望する人が多く、その中でも普通科の志向が強いようで半分を占めました。しかし、今年の時勢の中、まだまだ高校に対する情報や知識が十分でない中での判断ですから、「近場の公立高校の普通科を…」という人も多いかもしれません。ちなみに普通科において、前期選抜と中期第1順位での希望数は、以下の通りです。

→希望数上位は、桂…18名、洛西…17名、北嵯峨…13名、山城…8名、嵯峨野・紫野・鳥羽…5名、そして向陽、西乙訓、朱雀、乙訓、堀川、日吉ヶ丘、鴨沂の希望がありました。

また公立の専門学科についても、例年並みの希望がありました。

山城〔文理〕、嵯峨野〔こすもす〕、桂〔園芸ビジネス・植物クリエイト〕、桃山〔自然科学〕、堀川〔探求学科群〕、すばる〔情報科学〕、京都工学院〔プロジェクト工学〕、西京〔エンタープライズ〕、鳥羽〔グローバル〕、乙訓〔健康科学〕、紫野〔アカデミア〕、舞鶴高専

毎年それぞれの公立高校普通科も、様々な独自性を打ち出してきています。「普通科だから、どこも同じようなものだ。」と考えてしまうのは後に後悔をする結果になりかねません。入学してからのコース分けやカリキュラム、部活動の状況など、「共通点」や「違い」をしっかりと見極めた上で、自分にとって最適な高校を選ぶことが重要です。もちろん通学手段・時間なども大切な条件です。「今の段階ではここ」という判断をしている人は、今後、説明会やオープンキャンパスなどへの参加を通して、判断材料を増やしていくように心掛けてください。また今公立志望の人は「私立高校も自分の選択肢の中に入れておくこと」も必要です。私立高校の専願や推薦の場合、あるいは併願の場合というように、自分なりに想定できる私立高校を見つけておくようにしましょう。

今年は例年の形での学校説明会が少なくなり、みなさんの迷いも大きくなるかもしれません。その中で自分にとっての『最適』を見つけ出すことはかなりエネルギーを要することですが、そこは自分の人生を方向付ける「大切な選択」です。しっかりと「時間と労力」をかけて考えてください。多くの人と相談してください。一番避けてほしいことは、「必要な情報を得ずに」、「多くを考えることなく」、「いきあたりばったりで決めてしまう」ことです。今年の(短い)夏休みは、学習面ではこれまでの振り返り(復習)、そして進路面では時間をかけた情報収集がポイントになります。がんばりましょう。なお、私立高校、公立高校とも、令和3年度の生徒募集要項や入試・選抜方法は8月末から9月に正式に公表される予定です。

◆第1回進路説明会(保護者) 進路学活(生徒)について

6月23日に、第1回進路説明会を行いました。お忙しい中ですが、多くの保護者の皆様の参加をいただきました。計102名の参加でした。ありがとうございました。

配布された資料について、何か質問等ありましたら、担任までお伝えください。その内容を、今後7月の三者懇談会、そして夏休み以降の指導に生かしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

《裏面に続く》